

たてこし



生きがいとふれあいに満ちた心豊かな暮らしのあるまち 館腰



◎今号の表紙

田植えを終えたばかりの後ろの田んぼにはまだアートは見えませんが、7月ごろには大輪のひまわりが咲くことを願って参加者で記念撮影を行いました。子どもから大人までみんなの笑顔に楽しかったようすがあらわれていました。地元の熊登集落はじめ参加いただいた皆様、ご協力ありがとうございました。

地域の歴史資料

① 十川みささぎ遺跡（十川）

十川集落から西方約400mの三面川左岸の水田に十川みささぎ遺跡は位置していました。高さ3m、直径10m程度の円形の塚との伝承が残っていました。昭和29年の耕地整理によって破壊され、現在は集落入口の県道脇に復元されています。その際に中から15世紀前半頃の珠洲焼の大甕と18世紀以降の陶磁器類3点（新潟考古第7号）、ほかに太刀や仏具の鐘木（漆塗り）、鉦鼓が出土し（朝日村史）、ここで宗教的な儀礼行為が行われたことが想定されます。



十川みささぎ遺跡の塚（復元）

この伝説にまつわる高貴な人物の墓の可能性も想定されます。出土品の時期幅から地域で長くその霊を慰め今に受け継がれる貴重な遺跡です。



珠洲焼の大甕



鉦鼓



INFORMATION

第15回 たてこし軽トラ市

■日時 8月5日(日) 9:00～
■会場 JAいがた岩船北部営農センター駐車場
■催もの かき氷無料サービス/ガラポン抽選会など計画中
地元の新鮮な野菜、果物などの販売、抽選会の景品も多数準備していますので、ご家族みなさんでお試しください。出店者も募集しております。多少にかかわらずぜひ応募して協力をお願いします。



第2回竹あかり たてこしのタペ

■日時 9月8日(土)夜6時ころ～
■会場 小川小学校グラウンド
■内容 小川小学校の児童の皆さんと竹灯籠に灯火を行う予定です。昨年さらにグレードアップを目指します。詳細は今後のチラシ等でお知らせします。



あさひフォトコンテスト 作品募集

■応募期間 平成30年7月2日(月)～8月31日(金)
■募集テーマ 朝日地区の風景、暮らし、人、歴史、行事など
■表彰 「グランプリ」(1点、副賞3万円)、Instagramによる「いいね大賞」(1点、副賞5万円)など。応募規格など詳しくはチラシやホームページをご覧ください。



十川桜つつみ健康ウォーク 歴史文化部長 吉村和昭
桜並木の下を皆で歩こうとした企画でしたが、残念ながらあいにくの雨でウォークは中止となりました。しかし、十川の歴史、雲上佐一郎の伝説を高橋捷也(かつや)様からお聞きしました。私も十川集落の入り口に雲上佐一郎の看板があるのを見ていますが、初めて内容を知りました。雲上佐一郎は宮ノ下のお宮に祀られていることや、家来の子孫が現存していることなど驚くことばかりでした。子孫と言われている方に聞いてみたところ、40代の彼は自分の祖父まではお宮の管理をしていたとのことでした。「まさに、まさに」と感激新たでした。子どもたちもたくさん参加してくれましたが、ちょっと難しい内容にもかかわらず、静かに聞いていました。いつか「そんなこと聞いたなあ」と心に残ってくればと思っています。
また今年も食推の方にはおいしい豚汁を作っていたとき、皆でいただきました。本当にありがとうございました。

編集後記

海の向こう、メジャーリーグでは「大谷さん」の活躍がすごいことになっています。なんとたてこし「二刀流」です。一方海のこちら館腰では、まちづくり協議会が新役員体制で新たなスタートを切りました。「役員の方々さん」は家のこと、仕事のこと、(あるいはそれ以外のこと...?)、それぞれ「何刀流」もこなして頑張っています。「お前と大谷と一緒にするんじゃない」と言われそうですが、意気込みと見ていただければこちらもすごいことになっています。エンゼルスユニフォームに負けない真っ赤のスタッフジャンパーで、今年度も頑張ります。よろしくお願いたします。<総務広報部会 KF>

たてこし 館腰地域まちづくり通信 23号 [2018年6月15日発行]

発行：館腰地域まちづくり協議会

事務局：〒958-0292 新潟県村上市岩沢 5611 番地 (村上朝日支所 地域振興課内) Tel.0254-72-6881

mail as.shinko-chiiki@city.murakami.lg.jp

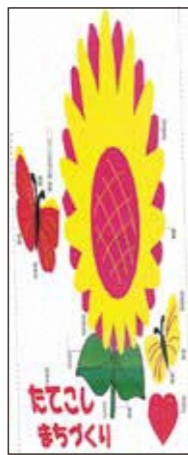
Facebook や HP でも活動の様子を公開しています

Facebook <https://www.facebook.com/tatekoshi>

HP <http://www.city.murakami.lg.jp/site/tatekoshi/>



田んぼアートの 植えイベント開催！



植え付け図

5月27日（日）、晴天の中、熊登集落内にて田んぼアートの田植えイベントが行われました。子どもから大人まで57名が参加し、田植えは初めてという方も多く、慣れない手つきで作業が開始されました。足をとられ転ぶ参加者もいて、終始和やかな雰囲気の中、笑い声が絶えませんでした。



熊登の田んぼに咲く ひまわりを楽しみに

3年前から山形県米沢市や燕市の取組みを視察研修して準備を進めてきました。田んぼの面積は約1000㎡。図柄は旧朝日村の花である「ひまわり」をモチーフにし、5種類の苗を使用しています。

熊登集落の佐藤区長は、「住民も活性化につながればと楽しみにしていた」と田んぼアートイベントを歓迎してくれました。

友人同士で誘い合い家族で参加したという吉村智美さんと高橋優香さんは「子どもに田植えを体験させたかった」と一緒になって田植えを満喫していました。1時間半ほどで田植えを終え、泥まみれで田んぼから出てきた参加者たち。予定より早い昼食会となりましたが、豚汁とおにぎりが振る舞われ、おかわりをすの方も多く参加者全員が労をねぎらい懇親を深めていました。

田んぼアートの見ごろは7月中旬から8月初旬ごろ。見学台の整備も計画しておりますのでぜひ足を運んでみてください。また9月から10月にかけて稲刈りイベントも予定しておりますのでこちらの方もぜひご参加ください。

参加者の感想

吉村駿人さん（6歳）
「泥が気持ち悪かったけど、うまく植えることができた。」と満足そうに話してくれました。

谷井心海さん（11歳）
最初は嫌だったけれど、やっているうちにだんだん面白くなった。色がついたら見に来たい。

小池暖人さん（9歳）と貴暖さん（8歳）兄弟
「自分が植えてところどうなっているか見に来たい」とアートの出来栄を楽しみにしています。

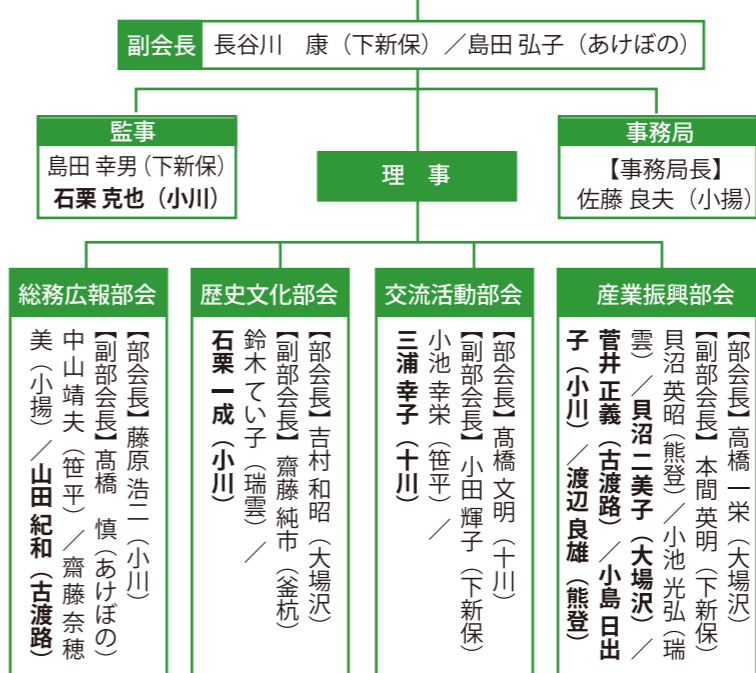
総会が開催され新年度がスタート！



4月15日、大吉亭において平成30年度の定期総会が開催されました。小川小学校大滝校長、館腰地域区長各位の皆様が臨席を賜り、代議員26人（うち委任状10人）、役員22人が出席し、昨年度の事業・決算報告、新役員の承認、代議員数の改正、本年度の事業・予算の承認の4議案について審議されました。いずれも満場一致で承認され、新年度の事業をスタートすることができました。新役員も加わり、懇親会では和気あいあいとした雰囲気の中で館腰地域の一体感を感じることができました。

組織図とメンバー紹介

※太字は新任です



魅力ある館腰を目指して

会長 忠 隆司



初夏の候、皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。村上市も合併から10年という節目を迎え、館腰まち協も7年目がスタートしました。

特に今年度は、3年近く前から制作を検討してきました「田んぼアート」に取り組むことが出来ました。大勢の皆様からご参加をいただきありがとうございます。また、来年4月に小川小学校と三面小学校が統合されることから、「三面まち協」

とのお互いの交流や次年度からの共同事業も検討することといたしております。新役員による事業がスタートしましたが、これからも役員が余力を持ち、地域住民が楽しんで参加できる事業を一步步展開したいと考えています。これからも「魅力ある館腰」を目指して地域の活性化と一体感の醸成に、皆様と一緒に取り組んで参りますので、ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

新しい協力隊がやって来た！

「継続して行ける仕組みづくりを」

地域おこし協力隊 長津地区 佐藤 豊

4月に東京都台東区から小揚に移住してきました。これまで金融マーケットに長年関わり、リスク・リターン分析や競技スポーツを経験してきました。

長津地区には、熱心な人たちに支えられて、地域の活性化に取り組んでいる長津笑楽講という母体があります。協力隊の主な仕事は、竹山整備事業になります。竹山整備事業は、竹山整備事業になります。竹山整備事業は、竹山整備事業になります。



本気の人たちと一緒に仕事ができることを楽しみにしています。今までの経験・知識を使い、一時的なことではない、継続して行ける仕組みづくりをやっていこうと思っておりますので、皆さんよろしくお願いたします。